

科目シラバス (2022年度)

--

■ 科目基本情報

科目名	アフレコ I	科目コード	9420
授業時数/週	2 時間/週	年次・学期	1 年 ・ 通期
必修/選択区分	必修	授業方法	実習
担当教員	大橋正幸/山崎 亮		
教員の実務経験	実務経験のある教員による授業科目		
職業実践専門課程	企業等と連携した実習・演習	連携企業等	(社) 日本朗読検定協会
備考			

■ 科目詳細情報

授業概要	アニメーションや映画の吹替えを、オリジナルのキャラクターや映像を題材に、一年次は主に声の演技を通じて、その楽しさを理解し、憧れを促す基本科目。											
到達目標	①「ゲーム」「アニメーション」「外国映画(ドラマ)」等 音声による演技表現の基礎全般 ②正しいスタジオ収録マナー ③マイクワーク等 収録ロケーションの基礎理解											
授業方法	実習、演習、視聴											
実践的教育の内容	担当教員(大橋)：大学で演劇を専攻～卒業後TDLエンターテインメント部を経て、イベント事業監修～プロ劇団所属。後に芸能事務所に在籍し、VP/ナレーション/ドラマ/WEBアニメ等の現場と学校法人勤務を15年継続、声優/芸能等の業界経験を積み現在に至る。☛理論～実践の両面から、多角的に指導を施し、初級～応用へと着実にステップアップを図る。(※テキストは現場仕様～オリジナル迄 多岐に亘る)											
成績評価方法	筆記試験 定期試験	0%	筆記試験 小テスト	0%	実技試験	50%	課題評価	0%	平常評価	50%		
	①科目別出席率：50% ②期末「実技査定」各項目(発声/滑舌/調音/テンポ/表現力)各10点の合計点：50% 以上 ∴①+②=成績評点											
授業外における学修	前期：特にナン/後期：年度末成果発表を目標に課外補習を実施する 等 ☛検討段階											
教科書・教材	・上記アニメーション/外画作品に基き 担当教員がテキスト化したもの(※都度データ配布～終了後はデータ消去)											
参考文献・資料	・「日本語発音アクセント 新辞典」NHK出版社											
履修上の留意点	教員の主観に依存せず、自発的/能動的に学び、研究する事が求められる。											
授業計画(前)	第1週 授業内容オリエンテーション(遠隔授業でアフレコを体験してみる)											
	第2週 ・台本研修(I)「アニメーションpart1」シーン作り ・憧れのある等身大キャラクター像をオリジナルにリセットし創出する。(第1回目)											
	第3週 ・台本研修(I)「アニメーションpart1」シーン作り ・憧れのある等身大キャラクター像をオリジナルにリセットし創出する。(第2回目)											
	第4週 ・台本研修(I)「アニメーションpart1」シーン作り ・憧れのある等身大キャラクター像をオリジナルにリセットし創出する。(第3回目)											
	第5週 ・台本研修(I)「アニメーションpart1」シーン作り ・憧れのある等身大キャラクター像をオリジナルにリセットし創出する。(第4回目)											
	第6週 ・台本研修(II)「アニメーションpart2」シーン作り ・群衆演技を通じてグループワークと脚本プロットを研究する。(第1回目)											
	第7週 ・台本研修(II)「アニメーションpart2」シーン作り ・群衆演技を通じてグループワークと脚本プロットを研究する。(第2回目)											
	第8週 ・台本研修(II)「アニメーションpart2」シーン作り ・群衆演技を通じてグループワークと脚本プロットを研究する。(第3回目)											
	第9週 ・台本研修(II)「アニメーションpart2」シーン作り ・群衆演技を通じてグループワークと脚本プロットを研究する。(第4回目)											
	第10週 ・台本研修(II)「アニメーションpart2」シーン作り ・群衆演技を通じてグループワークと脚本プロットを研究する。(第5回目)											
	第11週 ・台本研修(II)「アニメーションpart2」シーン作り ・群衆演技を通じてグループワークと脚本プロットを研究する。(第6回目)											
	第12週 ・台本研修(II)「アニメーションpart2」シーン作り ・群衆演技を通じてグループワークと脚本プロットを研究する。(第7回目)											
	第13週 ・台本研修(II)「アニメーションpart2」シーン作り ・群衆演技を通じてグループワークと脚本プロットを研究する。(第8回目)											
	第14週 ・台本研修(III)「外国映画part1」吹替シュミレーション ・母国語(英語等)のボイスオーバー/特徴あるキャラクターの声質研究(第1回目)											
	第15週 ・台本研修(III)「外国映画part1」吹替シュミレーション ・母国語(英語等)のボイスオーバー/特徴あるキャラクターの声質研究(第2回目)											
	第16週 ・前期「実技査定(作品未定)」発声/滑舌/調音/テンポ/表現力を中心に採点(第1回目)											
	第17週 ・前期「実技査定(作品未定)」発声/滑舌/調音/テンポ/表現力を中心に採点(第2回目)											

授業計画（後）	第18週	・台本研修（Ⅳ）「アニメーションPart3」シーン作り（会話研究①） ・「静寂」「シリアス×コミカル」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第1回目）
	第19週	・台本研修（Ⅳ）「アニメーションPart3」シーン作り（会話研究①） ・「静寂」「シリアス×コミカル」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第2回目）
	第20週	・台本研修（Ⅳ）「アニメーションPart3」シーン作り（会話研究①） ・「静寂」「シリアス×コミカル」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第3回目）
	第21週	・台本研修（Ⅴ）「アニメーションPart4」シーン作り（会話研究②） ・「静×動」「シリアス」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第1回目）
	第22週	・台本研修（Ⅴ）「アニメーションPart4」シーン作り（会話研究②） ・「静×動」「シリアス」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第2回目）
	第23週	・台本研修（Ⅴ）「アニメーションPart4」シーン作り（会話研究②） ・「静×動」「シリアス」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第3回目）
	第24週	・台本研修（Ⅵ）「アニメーションPart5」シーン作り（会話研究③） ・「静×動」「シリアス×コミカル」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第1回目）
	第25週	・台本研修（Ⅵ）「アニメーションPart5」シーン作り（会話研究③） ・「静×動」「シリアス×コミカル」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第2回目）
	第26週	・台本研修（Ⅵ）「アニメーションPart5」シーン作り（会話研究③） ・「静×動」「シリアス×コミカル」等のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第3回目）
	第27週	・台本研修（Ⅶ）「アニメーションPart6」シーン作り（アクションシーン研究） ・「動×動」「緊張感」のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第1回目）
	第28週	・台本研修（Ⅶ）「アニメーションPart6」シーン作り（アクションシーン研究） ・「動×動」「緊張感」のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第2回目）
	第29週	・台本研修（Ⅶ）「アニメーションPart6」シーン作り（アクションシーン研究） ・「動×動」「緊張感」のシチュエーションを音声表現から学ぶ（第3回目）
	第30週	・台本研修（完結）「アニメーションPart7」シーン作り（総合研究） ・「静×動」「バトル×タクティクス」等のシチュエーション/距離感を音声表現から学ぶ（第1回目）
	第31週	・台本研修（完結）「アニメーションPart7」シーン作り（総合研究） ・「静×動」「バトル×タクティクス」等のシチュエーション/距離感を音声表現から学ぶ（第2回目）
	第32週	・台本研修（完結）「アニメーションPart7」シーン作り（総合研究） ・「静×動」「バトル×タクティクス」等のシチュエーション/距離感を音声表現から学ぶ（第3回目）